

## オリーブハウス 運営推進会議 報告書

事業所名：認知症対応型通所介護 オリーブハウス

会議開催日：令和7年10月29日（水）（R7年度 第1回）

開催場所：オリーブハウスホール

### 【出席者】

事業所	2名	利用者家族	1名
宇城市高齢介護課	1名		
12区区長	1名		
地域民生委員	1名		

### 【議事】

#### 1、各自、自己紹介

#### 2、事業所の利用者状況報告

現在の平均介護度 1.58。平均年齢 82.9 歳だが、若年性の方が 3 人利用。高齢の方とは、求めていることが異なるため、個別での対応を行っている。

毎回温泉に行くという希望で利用されている利用者で、毎週、温泉にスタッフと一緒に出掛けている。前頭側頭型認知症の症状で常同行動があり、今後はパターンを変えて、1 回/月での対応にしていこうと流れを作っている。

#### 3、活動報告

午前中は、男性の方は、囲碁、将棋をする方が増え、利用者同士で楽しまれている。以前されていた方など、一つのテーブルに集まり、楽しまれている。

女性は生活リハがメイン。食事の準備や片付けを実施。家事活動に力を入れている。

包括支援センターから依頼のマスコット作り（小学生むけ）も裁縫が得意な方が実施し、社会参加されている。

#### 4、意見交換

・高齢介護課 N 様～認知症対応型通所介護はオレンジとオリーブでの使い分け、対象者の違いは  
→以前は重度の方が多く、他の施設では受け入れが難しい方などの対象者が多かった。今は外出を好まれる方をメインに紹介いただいている。地域密着型なため、宇城市以外の方は、利用できないため、お断りするケースもある。

・12 区区長～通所に通えるのは、どの程度からなのか  
→認知症の病名があれば、利用可能。若年の方の紹介が多い。なかなか受け入れ先がないことが特徴。

・利用者ご家族様～オリーブ利用に至るまでの経緯を話される。夕方から目が離せず、一人にできない。

## 5、消防訓練実施（自主訓練）

○地震による避難訓練と火災訓練を実施

参加者：利用者5名、スタッフ5名、

12 区区長 H 様・民生員 N 様・高齢介護課 N 様・利用者家族代表 F 様

避難想定場所：オリーブハウス施設外へ

実施内容：避難訓練・通報訓練・初期消火・初動対応

○訓練後の反省及び感想

参加者の方より、ご意見いただく

- ・人数が少ないから、スムーズでよかった
- ・認知デイなので指示が通らないこともあるのでは？
- ・びっくりする方はいなかった
- ・パニックになられることもあるので、避難場所をしっかりと決めておく
- ・施設の大きさが変わってくる
- ・日ごろから訓練しているとスムーズ

以上